

下道恵子議員



○介護タクシーについて
○外国人の救急時の多言語通訳サービスについて

そのほかの質問

- ・QRコードを利用した高齢者の見守り対策について
- ・風疹予防について
- ・ふくいしあわせ元気国体・障スポについて
- ・災害時の停電について

一般質問

問 在宅介護している家庭の方が、買物や病院に出かける時に、ホームヘルパーの資格を持ったドライバーが運転する予約制の介護タクシーがある。しかし、当市では1ヶ所の事業所で2台の介護タクシーがあるだけで混みあっている。市民が、身体が不自由になっても家に閉じこもることなく出かけられる生活ができるよう、市が金銭的補助をして、介護タクシーの台数を増やして行くことが必要ではないか。市の見解を伺う。

答 勝山市内に介護タクシー事業者は、1事業者のみであり、時間帯によっては予約がいっぱいであるという。介護タクシーの台数不足については、車両が高額で買えないというより、利用時間帯が集中しているため、その時間のためだけに人を雇うことが難しく、ヘルパーの資格を持った運転手でなければならぬため、人材確保が難しいという課題がある。

問 「多言語通訳サービス」とは、日本語の話せない外国人の方から119番通報の電話があった時にすぐに民間のコールセンターにつなぎ、通報者と消防職員がコールセンターの通訳者を介して症状を聞いたり、場所の把握をしたりできるものである。

答 勝山市では、「多言語通訳サービス」の導入はしていないが、今後、外国人の増加等を考慮しながら検討したいと考えている。

なお、救急現場では、救急車2台にタブレット端末が配備されており、「音声通訳アプリ」を活用しながら問診を行うなどの対応をしている。「救急車利用ガイド」については、「救急の日」の行事や各種講習会等で紹介を行っている。今後、もあらゆる機会をとらえて周知を図りたい。

山田安信議員



○農業用水路と生活用水路の事業費のあり方について
○ふくい嶺北連携中枢都市圏について

そのほかの質問

- ・今冬の雪害対策について
- ・生活保護制度に準じた低所得者支援について
- ・憲法9条改憲問題について

一般質問

問 生活用水路工事は全額を公費で負担するが、農業用水路工事は農業者に負担を求めている。農業者に負担を求めると水路の維持管理が困難になり、流雪等の生活用水の確保にも支障がでる。農業者負担のルールを改善する考えはないか。

答 勝山市としては農業者の負担を軽減させるため、まずは補助率の高い国、県の事業での対応が可能かの検討を行う。特に市街地での水利用形態が変化していることに鑑み、農業者負担のルール見直しについて検討していく。

問 生活用水路工事は全額を公費で負担するが、農業用水路工事は農業者に負担を求めている。農業者に負担を求めると水路の維持管理が困難になり、流雪等の生活用水の確保にも支障がでる。農業者負担のルールを改善する考えはないか。「ビジョン案」は福井市中心的な事業に偏っている。ジオターミナルでの観光案内や恐竜バス運行なども事業追加すべき。

答 ビジョン案に掲載されている取り組みは、関係市町で相互に連携・協力を図るための協議をしたうえで策定したものであるため、当初は現在のビジョン案を進めたい。そして、人口減少対策に係る課題を関係市町で共有し、勝山市の特性を活かした事業を提案し関係市町との協議を行い、相互に連携・協力を図るための合意を得たいと考えている。

また、ビジョンの取組期間中であっても修正は可能であるため、パブリックコメント及び議会の意見は福井市に提出したい。